

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

(公益社団法人) けいしん神奈川

## ②施設・事業所情報

名称：横浜市西菅田保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：辻内 美帆	定員（利用人数）：60名（66名）
所在地：〒221-0864 神奈川県横浜市神奈川区菅田町488	
TEL：045-473-1957	ホームページ： <a href="https://cgi.city.yokohama.lg.jp/kodomo/hoiku-shisetu/hdata/n0055.html">https://cgi.city.yokohama.lg.jp/kodomo/hoiku-shisetu/hdata/n0055.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和54年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市	
職員数	常勤職員：14名 会計年度任用職員：17名
専門職員	保育士27名 調理員3名
施設・設備の概要	（居室数）7室 内訳：保育室（3室）、遊戯室、調理室、事務室、休憩室 （設備等） 建物面積（保育所分）363㎡ 児童1人当たり6.05㎡ 園庭の面積1,194㎡ 児童1人当たり19.9㎡ 鉄筋コンクリート造平屋建て

## ③理念・基本方針

- ・理念『私たちは、一人一人の子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通してその福祉を積極的に推進するように努めます』
- ・基本方針『自然がいっぱい みんなで共に育ちあおう』

## ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・地域子育て支援実施園として、地域のニーズを踏まえながら、公立園として園庭開放、一時保育事業、ランチ交流等を行っています。
- ・神奈川区子育て支援の一環として、「すくすく子がめ隊」と称し、西菅田団地の集会場に訪問し、絵本の読み聞かせや手遊びの披露等を行っています。
- ・ネットワーク事務局園として、保育資源ネットワークを構築し、保育の質の維持・向上及び地域子育て支援の充実に向けた取り組み強化を行っている。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年5月14日（契約日）～ 令和3年3月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成27年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### 1. 園の運営について、しっかりした組織体制を整え、保育目標を達成・具現化しようとする努力と前向きな姿勢が強く伺われます。

園の業務運営（事業計画）については、市の計画になどにより基本的な枠組みは定められていますが、これを受けて園として独自にさらにきめ細やかな各種施策を講じています。園を取り巻く環境や求められるニーズを把握し、園長的確なリーダーシップのもと、日常の保育や行事の内容の検討において、個々の事業や行事の積み上げに止まることなく年間を見据え、また順序や相互の関係を考慮した総合的な計画になっています。例えば、日々の保育においても、散歩と室内遊びのバランスを考え成長・発達につながるように努め、また異年齢交流もまず年間計画表を作成し、定期的に交流を行い子ども同士の関係を深め、さらに運動会、お楽しみ会などの行事につなげるなど、年間通しての目標や達成すべき姿を明確に描き、実行段階では、細かいアドバイスがなされ、細部の要領を詰めています。保護者アンケートでも利用者満足について全般的に肯定的意見（「満足」「どちらか」というと満足）の割合が高く、なかでも日常の保育（「遊び」および「生活」）については非常に高く、否定的な意見はほとんどありませんでした。これらについて、今回の訪問調査でも園長以下それぞれの職員の保育に対する熱い思いと高いモチベーションをもって職務を遂行している姿を確認でき、組織の総合力が発揮されている証左であると考えます。今後も引き続き、しっかりとした組織の維持と保育に対する前向きな姿勢と地道な努力の継続に期待しております。

#### 2. 地域の人々との連携・協力を大切にし、子育て支援や福祉活動をとおして地域振興に貢献するとともに、園に対しても多くの貴重な支援を頂き、円滑な運営に寄与しています。

保育所にとって地域との交流・連携は重要であり、多くの保育園で多種多様な活動が活発に行われています。当園でも特に地域ネットワーク事務局園として、園庭開放、ランチ交流、一時保育、育児講座などの事業を企画・実施し、地域の保育に大きく貢献し高い評価を受けています。さらに、地域の関係諸機関、町内会など住民の方々とは密接に連携し、防災や体験学習を通じた教育支援など幅広い分野の事業に携わり、まちづくり、地域の活性化・発展に大きく寄与・貢献しています。また、地域の方々とは園の運動会などの行事への参加や園児の高齢者施設への訪問をとおして多世代の方々とは交流を図っています。このように地域社会と幅広い分野でのしっかりした連携・協力をとおして子どもたちの豊かな人間性育成の上で力強い後押しとなっていて、保育の質の向上につながっています。今後もこの良好な関係が継続・発展していくことを期待しています。

#### 3. 施設、備品を大切に使い、長期・有効活用に努めています。

園舎は1979年に建設され、老朽化も否めない長期間が経過し、所々に修繕、修理が必要な箇所が相当あっても当然の年数です。老朽化による破損、破壊、摩耗などで機能不全箇所が多く発生し、保護者アンケートでも施設設備や安全快適性についての項目については「不満」「どちらかといえば不満」の否定的評価が多いのが通常ですが、当園の場合は、「満足」「どちらかといえば満足」の肯定的評価が非常に高く、保全状態が大変良好であり、施設設備や備品が大切に使われ、手入れや修理が入念・熱心に行われていることを物語っていると思われます。この状態は一朝一夕に出来上がるものではなく、創設以来40年以上にわたり当園に関わってこられた、職員、園児、保護者等すべての方々によって連綿として引き継がれてきた努力の賜物と思われます。子どもたちにとっても、生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期をこの園でそういう気風の中で過ごし、きっと「モノを大切にする気持ち」が大いに育まれていることと確信しています。この良き伝統をこれからもしっかりと継続して頂きたいと願っています。

#### ◇改善を求められる点

##### 1. 「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」について、より一層のきめ細やかな対応が望めます。

朝夕の送迎時には家庭や園でのそれぞれの様子を伝えあっていますが、時間帯によっては登降園の園児が集中し、錯綜した状況の中で情報伝達の内容に残念ながら漏れや不十分な状況が起こるのも実情です。保護者アンケートの中でもこの点についての改善要望が複数寄せられています。この問題は多くの保育所で共通的に発生しているものであり、改善策もいろいろ検討されていますが、完全な解決には至っていないのが実態です。当園においても課題として認識し、従前より改善努力がなされているところですが、現状では未だ解決には至っていない状況にあると考えられます。情報伝達の要領やシステムの改善のみではなかなか完全な解決は望めず、どうしても担当した職員の努力、頑張り、特に注意力に期待され、負担を増す要素も大きく、これらをトータル的に考慮しつつ進めていく必要があります。引き続き改善のための努力を地道に継続して行かれることが望めます。

##### 2. 朝夕送迎時の保護者のための駐車場確保について、引き続きの改善努力が期待されます。

多くの保育園で送迎のための駐車場不足の問題を抱えているわけですが、当園においても同様で、以前より園、保護者、関係機関などで解決のための検討、話し合いが行われてきましたが、なかなか解決策が見出せない状況にあると思われまます。

しかしながら、保護者にとっては負担が大きく、今回のアンケート調査でも、負担軽減に向けての多くの要望がありました。園独自では解決困難な問題ですが、引き続き改善努力に努めていただきたいと思います。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

年度ごとに、マニュアルの見直しや保育所の自己評価などを行っておりますが、今年度、第三者評価を受審することで、より深く職員間で自園の保育の取り組みや課題点について話し合うことが出来たと思います。

雇用形態が異なる職員がいるため、全員が話し合いに参加出来るよう、いくつかのグループに分け園内研修を行い、項目毎一つ一つ丁寧に話し合ってきました。今まであまり意見を出さなかった職員も少人数で話しあうことで自分の考えを話したり、分からないことを質問したりと活発に意見交換を行うことが出来ました。今回の第三者評価受審をきっかけに、職員の保育に対する意識も高まり、保育の質向上、そして職員同士のより良い関係づくりにも繋がったと思います。

保護者の皆様にはお忙し中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。いただいたご意見や課題点については職員間で共有し、今後の園運営に活かしてまいります。

今後も引き続き、保育園が保護者の皆様そして地域の皆様にとって安心出来る場所となるよう職員一同努めていきたいと思ひます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり